

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月3日

上場会社名 ワタベウェディング株式会社

上場取引所 東大

コード番号 4696 URL <http://www.watabe-wedding.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡部 秀敏

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 吉澤 康

四半期報告書提出予定日 平成22年2月4日

TEL 075-352-4111

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	40,029	18.7	1,862	△41.3	1,982	△35.9	906	△36.9
21年3月期第3四半期	33,729	—	3,173	—	3,094	—	1,436	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	91.50	—
21年3月期第3四半期	144.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	25,411	15,029	59.1	1,516.73
21年3月期	25,663	14,544	56.7	1,467.76

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 15,029百万円 21年3月期 14,544百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
22年3月期	—	15.00	—		
22年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,800	13.8	1,700	△38.7	1,610	△42.3	670	△42.5	67.61

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 9,909,400株 21年3月期 9,909,400株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 177株 21年3月期 177株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 9,909,223株 21年3月期第3四半期 9,909,270株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、平成21年9月29日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」より修正しておりません。なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的に長引く金融不安や失業率の悪化、消費減退などの影響による景気停滞局面の中、底堅くも厳しい状況が続きました。

このような状況下において、当社グループは、個性化・多様化するお客様のニーズに対応すべく、トータル・ブライダル・ソリューションの実現とグローバル展開により、「お客様満足度の向上」と「感動の最大化」を図るため、積極的に事業展開を行ってまいりました。

国内挙式事業におきましては、北海道や沖縄のリゾートウェディングの強化と前連結会計年度に事業を譲り受けたメルパーク11施設が本格稼働し、海外挙式事業におきましては、挙式施設の改装やアジア地域の婚礼事業展開を行い、“リゾート婚”市場の活性化を図ってまいりました。

以上の結果、当社グループの業績は、売上高40,029百万円（前年同四半期比18.7%増）となりましたが、計画通りの売上高に達することが出来なかったため、販売管理費率が上昇し、営業利益1,862百万円（同41.3%減）、経常利益1,982百万円（同35.9%減）、四半期純利益906百万円（同36.9%減）となりました。

なお、所在地別セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 日本

前連結会計年度に事業を譲り受けたメルパークの施設や沖縄の挙式施設の本格稼働により、挙式取扱組数が増加し、売上高は38,537百万円（前年同四半期比20.4%増）となりましたが、積極的な販売促進活動を行った結果、営業費用が増加し、営業利益は1,441百万円（同43.5%減）となりました。

② ハワイ

挙式取扱組数が前年並みに回復しましたが、単価の下落により、売上高は2,953百万円（同16.7%減）、営業利益は209百万円（同51.1%減）となりました。

③ 中国

ベトナム工場へのシフトを進めたことにより、売上高は1,147百万円（同12.2%減）、営業利益は48百万円（前年同四半期 営業損失26百万円）となりました。

④ オセアニア

挙式取扱組数が減少し、売上高は360百万円（前年同四半期比49.4%減）、営業損失は11百万円（前年同四半期 営業損失35百万円）となりました。

⑤ ミクロネシア

挙式取扱組数が減少し、売上高は1,160百万円（前年同四半期比28.6%減）、営業利益は83百万円（同33.3%減）となりました。

⑥ その他の地域

ベトナム工場における操業度の上昇やバリ挙式の順調な推移により取扱組数が増加したものの、北米・カナダ挙式の取扱組数が減少し、売上高は1,014百万円（同3.9%減）、営業利益は59百万円（同8.2%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当社グループの当第3四半期連結会計年度末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ589百万円減少し、8,594百万円となりました。これは主に現金及び預金や売掛金が減少したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ338百万円増加し、16,817百万円となりました。これは主に有形固定資産が増加したことによるものであります。この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ251百万円の減少となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,335百万円減少し、8,926百万円となりました。これは主に前受金等の減少によるものであります。固定負債は前連結会計年度末に比べ598百万円増加し、1,455百万円となりました。これは主に長期借入金の増加によるものであります。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ736百万円の減少となりました。

純資産残高は前連結会計年度末に比べ484百万円増加し、15,029百万円となりました。これは四半期純利益906百万円や配当金297百万円の支払による利益剰余金の増加609百万円、為替相場の変動による為替換算調整勘定の減少107百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

現時点におきましては、平成21年9月29日発表の業績予想を変更しておりません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,667	4,971
売掛金	1,407	1,768
商品及び製品	211	227
仕掛品	24	17
原材料及び貯蔵品	541	578
その他	1,772	1,651
貸倒引当金	△28	△30
流動資産合計	8,594	9,184
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,346	6,185
その他（純額）	4,760	4,534
有形固定資産合計	11,107	10,720
無形固定資産	1,457	1,399
投資その他の資産		
差入保証金	3,527	3,557
その他	757	833
貸倒引当金	△32	△32
投資その他の資産合計	4,252	4,359
固定資産合計	16,817	16,479
資産合計	25,411	25,663
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,938	1,984
短期借入金	1,429	1,400
未払法人税等	725	580
前受金	1,819	2,287
賞与引当金	332	839
その他	2,679	3,169
流動負債合計	8,926	10,261
固定負債		
長期借入金	954	386
退職給付引当金	151	129
その他	349	340
固定負債合計	1,455	856
負債合計	10,382	11,118

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,176	4,176
資本剰余金	4,038	4,038
利益剰余金	8,011	7,402
自己株式	△0	△0
株主資本合計	16,226	15,616
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12	14
繰延ヘッジ損益	14	28
土地再評価差額金	△906	△906
為替換算調整勘定	△317	△209
評価・換算差額等合計	△1,196	△1,072
少数株主持分	—	0
純資産合計	15,029	14,544
負債純資産合計	25,411	25,663

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	33,729	40,029
売上原価	12,012	13,912
売上総利益	21,717	26,116
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	6,243	8,103
賞与引当金繰入額	595	409
退職給付費用	65	110
その他	11,640	15,630
販売費及び一般管理費合計	18,544	24,253
営業利益	3,173	1,862
営業外収益		
負ののれん償却額	24	—
受取賃貸料	—	58
その他	82	144
営業外収益合計	106	202
営業外費用		
支払利息	22	20
賃貸費用	—	18
為替差損	102	—
その他	60	43
営業外費用合計	186	82
経常利益	3,094	1,982
特別損失		
固定資産除売却損	125	—
施設店舗整理損	—	142
その他	118	26
特別損失合計	244	169
税金等調整前四半期純利益	2,850	1,812
法人税等	1,413	906
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	△0
四半期純利益	1,436	906

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,850	1,812
減価償却費	1,135	1,352
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△35	△506
受取利息及び受取配当金	△17	△5
支払利息	22	20
為替差損益 (△は益)	215	△88
役員退職慰労金	48	—
固定資産除売却損益 (△は益)	125	18
売上債権の増減額 (△は増加)	△26	361
たな卸資産の増減額 (△は増加)	81	44
仕入債務の増減額 (△は減少)	8	△42
前受金の増減額 (△は減少)	△640	△467
その他	309	△392
小計	4,076	2,106
利息及び配当金の受取額	17	6
利息の支払額	△20	△19
役員退職慰労金の支払額	△209	—
法人税等の支払額	△801	△736
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,062	1,356
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	100	28
有形固定資産の取得による支出	△1,108	△1,703
有形固定資産の売却による収入	5	—
無形固定資産の取得による支出	△219	△267
差入保証金の差入による支出	△759	△202
差入保証金の回収による収入	59	214
その他	223	27
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,698	△1,903
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,700	40
長期借入れによる収入	—	800
長期借入金の返済による支出	△412	△242
配当金の支払額	△297	△297
その他	△12	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	978	277
現金及び現金同等物に係る換算差額	△201	△6
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,140	△276
現金及び現金同等物の期首残高	3,429	4,940
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,569	4,664

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当社グループは、婚礼に関連した総合的なサービスの提供を主たる事業としております。前第3四半期連結会計期間及び当第3四半期連結会計期間並びに前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間においては、全セグメントの売上高の合計、営業利益の金額の合計額に占める当該事業の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	ハワイ (百万円)	中国 (百万円)	オセアニア (百万円)	ミクロネシア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社(百万円)	連結 (百万円)
売上高	31,999	3,544	1,305	713	1,625	1,055	40,244	(6,514)	33,729
営業利益(△損失)	2,551	428	△26	△35	125	65	3,109	64	3,173

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	日本 (百万円)	ハワイ (百万円)	中国 (百万円)	オセアニア (百万円)	ミクロネシア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社(百万円)	連結 (百万円)
売上高	38,537	2,953	1,147	360	1,160	1,014	45,173	(5,144)	40,029
営業利益(△損失)	1,441	209	48	△11	83	59	1,831	30	1,862

(注) 国又は地域の区分方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分方法 …………… 地理的近接度、事業活動の相互関連性を考慮して決定しております。

(2) 各区分に属する国又は地域 …………… ハワイは米国ハワイ州のみをその地域としており、米国のその他の州並びにカナダと区分しております。

また、オセアニアはオーストラリア、ニュージーランド及びタヒチを、ミクロネシアはグアム及びサイパンをその地域としております。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	ハワイ	ミクロネシア	その他	計
I 海外売上高(百万円)	4,525	2,164	2,192	8,883
II 連結売上高(百万円)				33,729
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	13.4	6.4	6.5	26.3

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	ハワイ	ミクロネシア	その他	計
I 海外売上高(百万円)	3,985	1,950	1,549	7,485
II 連結売上高(百万円)				40,029
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	10.0	4.9	3.9	18.7

(注) 1. 国又は地域の区分方法及び区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分方法 …………… 地理的近接度、事業活動の相互関連性を考慮して決定しております。

(2) 各区分に属する国又は地域 …………… ハワイは米国ハワイ州のみをその地域としており、米国のその他の州並びにカナダと区分しております。

また、ミクロネシアはグアム及びサイパンをその地域としております。

2. 海外売上高は本邦で受注した本邦以外での売上高並びに在外支店及び在外連結子会社の売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。